

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年11月20日

計画の名称	1 安心・安全で輝きあるまちづくり三郷町		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成28年度 (3年間)	交付対象	三郷町
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心が実感でき、住民の生活に輝きのあるまちづくりを目指す。 ・防災道路の築造及び総合防災施設の建設により、多角的な避難計画を策定する。 ・防災意識を喚起し、自らの生命を守り、近隣で助け合う地域づくりを推進する。 		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般避難所を整備することで、町地域防災計画、他地区の避難所への移動でカバーしている避難者数 (推定) の収容能力不足を解消する。 ・福祉避難所を整備することで、これまで対応できなかった高齢者や障がい者等の要配慮者への支援をする。 ・非常時用の発電・蓄電施設と、防災備蓄倉庫を併設した総合防災施設を建設し、同敷地内に耐震性貯水槽を設置することで、総合的な防災拠点として活用する。 ・既設の避難所案内板を更新し、避難に関する情報をより多く掲載した、視認性の良い案内板を設置することで、避難者の便宜を図る。 ・総合防災施設の存在の周知を行い、日常的に様々な防災情報に接するようになることで住民の防災意識を喚起する。そして総合防災施設を利用して、これまで実施したことがない避難訓練を実施するなどして、また高齢者や障がい者等の要配慮者の積極的な参加を促し、地域の住民の皆で安全・安心を実感してもらう。
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)							
① 推定避難者数の収容不能人数42人の解消	0%	100%	100%							
② 避難訓練の参加者数 (参加者数/地区内人口 (約2000人))	0%	10%	15%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	179.6百万円	A	170.4百万円	B	0百万円	C	9.2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.1%

後 評 価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三郷町総務部総務課	令和2年度 (事業終了後) 公表の方法 三郷町ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1	防災	一般	三郷町	直接	三郷町			地区公共施設設備 (防災まちづくり拠点)	福祉避難所・一時避難所各1箇所の整備	三郷町						115.7	
1-A-2	防災	一般	三郷町	直接	三郷町			地区公共施設設備 (防災まちづくり拠点)	防災備蓄倉庫4箇所の整備	三郷町						19.3	
1-A-3	防災	一般	三郷町	直接	三郷町			地区公共施設設備 (防災まちづくり拠点)	耐震性貯水槽1箇所の設置	三郷町						35.4	
											合計	170.4					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計	0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-C1-1	防災	一般	三郷町	直接	三郷町		避難所案内板の更新	避難所案内看板及び誘導看板の更新	三郷町						6.2	
1-C1-2	防災	一般	三郷町	直接	三郷町		防災ハザードマップの作成	最新の情報に繁栄したマップの作成	三郷町						3.0	
										合計				9.2		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C1-1	1-A-1と一体的に実施することで、避難者（滞在者含む）が円滑な避難を実施するための環境を整備する。															
1-C1-2	1-A-1と一体的に実施することで、防災に関する最新情報を周知し、住民の防災対策に役立てる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> この整備を行った結果、「防災」の基礎となる設備・機能を確保することができた。 防災訓練において参加者には機能説明を行い、災害時には安全・安心して利用できる施設として理解いただくことができた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（推定避難者数の収容不能人数42人の解消）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標②（避難訓練の参加者数）	最終目標値	15%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	10%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> 避難所案内板の設置と防災ハザードマップを作成することで、日頃から避難所までのルートを周知することができ、また災害時には案内板によりスムーズな避難が可能となる。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

今後もハザードマップ等で一般及び福祉避難所を住民に広報をし、避難者や要配慮者の便宜を図る。